様式10　技術提案書様式

※ 各様式は、A3もしくはA4版で作成すること。なお制限枚数に関し、A3版はA4版２枚に相当するものとする。

※ 制限枚数は、あくまでも上限を示すものであり、枚数を埋める必要はなく、また評価にも影響しない。

（様式10-1-1）

【A4版4ページ以内】

|  |
| --- |
| １．事業計画：本事業に対する方針、体制 |
| ・本事業に対する取組方針、設計・建設及び運営業務における役割分担、責任分担とともに、実施体制等の事業計画全般を記載して下さい。建設、運営の各段階において法令を遵守できる計画等を記載して下さい。  （１）本事業に対する取組方針  （２）設計・建設及び運営業務における役割分担、責任分担及び実施体制等の事業計画全般  （３）建設、運営段階の計画  （４）組合業務の効率化  　※組合業務範囲においても、組合業務の効率化に資する提案を記載して下さい。 |

（様式10-1-2）

【A4版3ページ以内】

|  |
| --- |
| １．事業計画：事業のリスク管理 |
| 設計・建設及び運営業務におけるリスク管理と設計・建設業務については工程管理について記載して下さい。  （１）設計・建設段階におけるリスクの抽出とその対応策を記載すること。  （２）運営業務におけるリスクの抽出とその対応策を記載すること。  （３）工事工程と工程管理上の留意点及びその対応策を記載すること。  ※工事期間中の安全面のリスクは様式10-3-1に記載するものとし、本様式には含めないでください。 |

（様式10-2-1）

【A4版4ページ以内】

|  |
| --- |
| ２．安定稼働：安定燃焼、ごみ量・ごみ質変動、連続安定稼働 |
| 事業期間にわたる、施設の安定燃焼や安定稼動並びに収集ごみの質や量の変動に対する適応策について、配慮する事項を記載して下さい。  なお、提案する方策で、実事例で効果を上げているものがあれば、その状況を付記して下さい。  （１）安定燃焼※  （２）ごみ量・質の変動に対する対応  （３）連続安定稼動※  　※ 本項に係る炉形状、炉温や蒸気量の制御方法等で見積設計図書の各設備概要説明等に記載されている内容は「○○参照」といった形で処理して下さい。 |

（様式10-2-2）

【A4版2ページ以内】

|  |
| --- |
| ２．安定稼働：維持管理及び復旧対応 |
| 平常時の稼働における機器類の故障等を未然に防ぐための取組と、万が一、故障した場合に対する早期復旧方法について記載して下さい。 |

（様式10-3-1）

【A4版4ページ以内】

|  |
| --- |
| ３．安全対策：工事の安全性、施設の安全性、作業員の安全性 |
| （１）工事期間中における事故防止のためのリスクの抽出とその安全対策について記載して下さい。  （２）焼却（溶融）施設と不燃・粗大ごみ処理施設のそれぞれのプラントそのものに対する安全性を記載して下さい。  （３）作業員への安全対策に関し、設備面（設計・建設）や運営面等において配慮した特筆すべき事項を記載して下さい。  １）作業員への安全対策に関して、配慮した事項を記載して下さい。  ２）プラントそのものの安全性※に関し、配慮した特筆すべき事項を記載して下さい。    ※ 防爆、火災時の対応設備、補修・点検時等の安全性に対する配慮事項を記載して下さい。なお、災害時に関する建屋や設備の安全性については、様式10-5に記載するものとし、本様式には含めないで下さい。 |

（様式10-3-2）

【A4版4ページ以内】

|  |
| --- |
| ３．安全対策：車両動線（敷地内） |
| （１）動線計画に関して、車両通行のスムーズさ、安全性に関する配慮を説明、提案して下さい。  • 各車両（ごみ搬入車、ごみ一般持込車、灰搬出車、メンテナンス車、見学者車両、従業員車両等）の動線並びに各構内通路幅員（基本、最大、最小部等）が分かる資料※を添付して下さい。  • 動線計画・運用面において配慮した特筆すべき事項を記載して下さい。  ※ 動線計画図を見積設計図書として作成・提出し、各車両の動線並びに各構内通路幅員が判別できる場合は、本様式用としての改めての添付は不要です。  （２）一般持込車の動線に関して、待機時間の短縮、通常のごみ搬入車への影響の排除、動線誘導のわかり易さ、動線以外の安全性（ごみの荷卸場所の確保等）等に関する工夫について、記載して下さい。 |

（様式10-4）

【A4版3ページ以内】

|  |
| --- |
| ４．環境配慮：工事期間中における対策、環境保全、景観 |
| （１）工事期間中における対策  以下の項目に関する工事期間中における環境対策を記載して下さい。  ①　騒音・振動対策  ②　その他工事期間中における環境対策（濁水流出対策、土砂持出抑制、工事車両起因の環境対策、その他環境対策（イメージアップ等））  （２）環境保全  　樹木等の保全、動物、植物及び生態系への影響に配慮した事項を記載して下さい。  （３）景観  「要求水準書」の記載事項を踏まえ、設計・建設計画における景観計画について、配慮した特筆すべき項目について記載して下さい。   * 鳥瞰図※ * 景観に関し、配慮した特筆すべき事項   ※ 鳥瞰図は、本様式として改めての添付は不要。 |

（様式10-5）

【A4版3ページ以内】

|  |
| --- |
| ５．災害対策：自然災害対策、災害廃棄物 |
| （１）自然災害対策  　自然災害対策として以下の事項について記載して下さい。  ①設計・建設上において配慮した事項。  ②本施設の運営・維持管理上において配慮した事項（緊急時の指揮命令系統・連絡体制、訓練など）。  ③自然災害後に早期復旧するための方法（設備上の工夫、バックアップ体制など）。  （２）災害廃棄物  災害廃棄物の受入に関して配慮した事項を記載して下さい。 |

（様式10-6）

【A4版3ページ以内】

|  |
| --- |
| ６．延命化 |
| 施設の長寿命化に関して、設計・建設計画、維持管理計画において配慮した特筆すべき事項を記載して下さい。 |

（様式10-7-1）

【A4版3ページ以内】

|  |
| --- |
| ７．生活環境対策：渋滞対策 |
| 工事中と供用開始後の渋滞対策についてそれぞれ記載してください。  （１）工事中  （２）供用開始後 |

（様式10-7-2）

【A4版5ページ以内】

|  |
| --- |
| ７．生活環境対策：自主規制値（排ガス、騒音・振動、悪臭） |
| 以下の項目に関する公害防止対策を設備面（設計・建設）や運営面（運転管理目標値等）の観点から記載して下さい。  （１）排ガス規制値の遵守（水銀を除く）  （２）水銀規制値の遵守やその他資源化先の規準を遵守するための重金属、有害物質等に対する対策。また、水銀に関して、規制値を超えた場合の復旧までの対応、再発防止対策等を記載してください。  （３）騒音・振動対策※  （４）悪臭対策※  　※ 工事中の対策は、様式10-4で記載し、本様式には含まないで下さい。 |

（様式10-8）

【A4版3ページ以内】

|  |
| --- |
| ８．住民に開かれた施設：情報発信、見学者向け説明用設備 |
| 住民に開かれた施設として、住民に安心感を持ってもらうための運用上の工夫や情報発信、見学設備に関する工夫について記載して下さい。  （１）情報発信  運用上の工夫及び排ガス等の自主規制値などの維持管理の情報発信方法について記載して下さい。  （２）見学者向け説明用設備  1）本施設の見学者対応に関し、設備面（設計・建設）や運営面等において配慮した特筆すべき事項を記載して下さい。  ①　見学できる場所  ②　見学者動線  ③　見学ルートに関して配慮した特筆すべき事項  ２）見学者向け説明用設備について、小学生を主な対象とし、３Ｒを中心としたごみの減量化と再資源化への意識の高揚を図るための特徴的な設備や工夫など、特筆すべき事項を記載して下さい。 |

（様式10-9）

【A4版4ページ以内】

|  |
| --- |
| ９．地元貢献：地元企業の活用、地元人材の活用、地域コミュニティ |
| 本事業の実施に伴い、地域経済や地域社会の活性化に貢献する提案について、簡潔かつ具体的（定量的効果を含む）にまとめて下さい。  （１）地元企業の活用方針・内容(建設段階、運営段階の件数及び金額）  （２）地域の資材及び人材活用等の考え方（雇用形態、人数、運営期間中の採用・配置計画）  （３）その他地域の貢献に関する優れた提案（自治会活動、地域清掃、地域文化活動などへの寄与）等  （４）用地造成担当企業の本店の所在地について記載して下さい。 |

（様式10-10-1）

【A4版3ページ以内】

|  |
| --- |
| 10-1．余熱利用：エネルギー回収率 |
| 本事業（施設）に関して、エネルギー効率率を向上させるための方策を記載して下さい。  （１）エネルギー効率等（発電効率、発電量等）を上げるための方策※を記載して下さい。  （２）基準ごみ時における年間売電電力量を記載して下さい。  　※ 必要に応じ、補修・交換等維持管理費増大に対する懸念への対策も説明願います。 |

（様式10-10-2）

【別添資料を除き、A4版2ページ以内】

|  |
| --- |
| 10-2．余熱利用：温暖化対策 |
| 温室効果ガス排出量及び温暖化防止のための方策について記載して下さい。  （１）温室効果ガス排出量  　　・算定方式を別添資料として添付すること（任意様式）。  　　・ごみの焼却に伴う排出分は含まないこと。  　　・施設の運転計画を考慮して算出すること。なお、ごみの焼却量は年間51,626ｔの場合で算定すること。  （２）温暖化防止に関して配慮した、特筆すべき事項※。  　※ 発電効率を上げるための方策は、様式10-10-1に記載することとし、本様式には含めないで下さい。 |

（様式10-11-1）

【A4版2ページ以内】

|  |
| --- |
| 11-1．再資源化システム：焼却灰等や副生成物の資源化方法、バックアップ対策 |
| 再資源化システムの以下の事項について記載して下さい。  （１）焼却灰等や副生成物の安定的な資源化方法を具体的に記載して下さい。  　　・受入先件数  　　・資源化方法（セメント原料化、焼成、溶融、その他）  （２）資源化された物の安全性と長期的かつ安定的に有効利用される具体的な  　　方法について記載して下さい。  　　・資源物の安全性  　　・長期的かつ安定的な有効利用方法  　資源化できない場合のバックアップ対策について記載して下さい。  　　・提案する資源化方法でのバックアップ体制の有無  　　・提案以外の資源化方法によるバックアップ体制の有無 |

（様式10-11-2）

【A4版4ページ以内】

|  |
| --- |
| 11-2．再資源化システム：資源回収量 |
| 資源回収量向上と質の向上に関する取組と小型家電（特定対象１６品目等）を効率よく回収するための方法について、記載して下さい。  （１）資源回収量及び質を向上させるための方策  （２）小型家電（特定対象１６品目等）の効率的な回収をするための方法 |